

平成26年10月

### 第29回臨時会

## 町長提出議案

町道下風深線社会資本整備総合交付金工事の請負契約の締結

工事概要は、施工延長が360m。早咲のたばこ乾燥場から下り、町道風深線との交差点までの全線の改良。道路幅員は、車道と路肩を合わせて、全幅5mで計画。当路線は、現在、施工している町道ミアゲ線と併せて、早咲地区の重要な津波避難路として位置付けで、住民が、安全・安心に避難出来るよう、早期完成に努めていく。

- 金額 6912万円
- 契約先 大方綜合建設㈱
- 工期 平成26年10月16日～平成27年3月25日

可決（全員）

Q 藤本 岩義議員

この路線は、車での避難も想定しているのか。また、その場合、電柱等の埋設についての協議や検討をしたか。

A 森田 まちづくり課長

ミアゲ線と同様に全幅5mの幅員にして、車も対応できるように計画した。

電柱等の埋設については、支障となる電柱が2本程度だったため、この路線については埋設化を考えていない。



森田 まちづくり課長

Q 明神 照男議員

この工事は、関連事業などで国からの補助率が65%。残り35%は町の負担で起債事業等を当てているとのことだった。請負率だが、今回の請負率は78%、通常、当町の場合には90%ほどの高い数字で入札



工事が進む町道下風深線（H27年1月5日）

がある。これが高ければ事業者にはより多くの利益となるが、町の負担も多くなる。町の請負率についての考えは。

A 松田 副町長

請負率が高い場合、町の利益になるか、住民の利益になるかとのことだが、金額が安いほど町の経費面はいいが、工事業者の利益率には影響すると考える。また、工事全体の発注率等によって影響してくると考えている。



松田 副町長

平成26年11月

### 第30回臨時会

黒潮町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告に基づき、月例給は、民間給与との格差0・27%を埋めるため、世帯間の給与配分の観点から、若年層に重点を置きながら、俸給表の水準を引上げ、平成26年4月1日より実施、また、ボーナスは、0・15月分引上げ、勤務実績に応じた勤勉手当に配分することとし、この条例の公布日より実施することとしている。

可決（全員）

Q 西村 将伸議員

人事院勧告は1事業所に50人以上の職員、社員がいる事業所が対象と思うが、当町内で対象の事業所は何箇所か。また、結果として地域で最も高い賃金をもらうのは公務員、たとの思いがある。そんな中で、今後の賃金の構造、給与

への対策をどう考えるか。

関連して、先の東日本大震災の復興の財源確保で、国家公務員給与の約7・8%を引き下げたが、当町は、すぐにはそれに振り掛からなかった。国が下げた時には下げずに、今、国が上がったからとすぐに上げるのは、地域事情とはかい離していかないと、思いがあるが、今後、下げられる場合でも参考にしてい

A 松田 副町長

町内での民間の業者については、私の方では掴んでいない。全国では約1万2400の民間事業所の約50万人の個人別の給与を対象に実施していると聞いている。

町としては、以前から人事院勧告を尊重し続けてきたと考えている。

Q 山崎 正男議員

若年層に重点をとの話があったが、給料表の何級・何号あたりか。変更の高いとこ